

青森県景気ウォッチャー調査

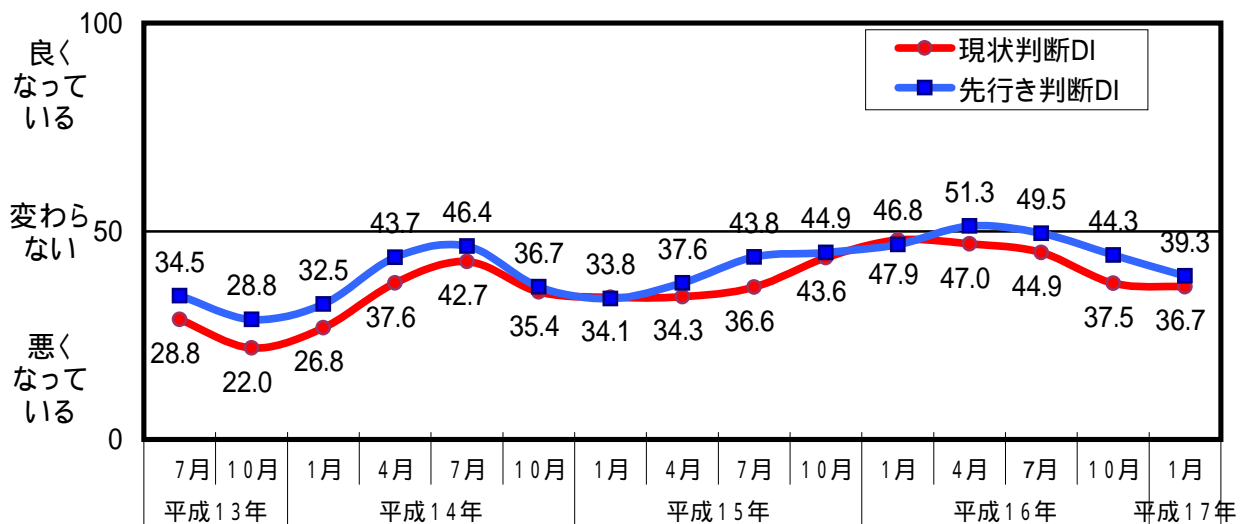
(平成17年1月期)

調査期間 平成17年1月4日～1月20日 回答率 96%

概況

1月期は、現状判断DIが4期連続、先行き判断DIが3期連続低下し、いずれも横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成13年7月は試行調査

平成17年1月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2188)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が3.1ポイント減少し、「悪くなっている」が3.1ポイント増加していることにより、全体では0.8ポイント減の36.7となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由では、一部のホテル・レストラン等では年未年始に好調に推移しているとはいうものの、多くのウォッチャーは、横ばいかやや悪くなっているのではないかと答えている。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連、企業関連でポイントが微増したものの、雇用関連では17.9ポイント減と大きく減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽地区で5.7ポイント増加したものの、他の3地区では3～5ポイントの減少となった。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなる」が4.2ポイント減少し、「悪くなる」が5.2ポイント増加したことにより、全体では5.0ポイント減の39.3となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由では、これ以上悪くならないで良くなってほしいという期待感を抱いているものの、現実には、景気が回復する要素は無く、マスコミ等で取り上げられている増税や社会保障負担増による不安で、一層景気は冷え込むのではないかと答えている。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全ての分野でポイントが減少したが、企業関連では引き続き横ばいを示す50となった。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全ての地区で2～8ポイント減少しており、50を維持していた県南地区についても42.2となり、全ての地区で50を下回る事となった。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=96

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	47.9	47.0	44.9	37.5	36.7
家計関連	46.4	44.9	42.1	35.6	35.9
小売	45.7	49.1	44.2	31.5	33.3
飲食	47.7	33.3	34.1	25.0	33.3
サービス	44.8	45.4	42.3	43.3	40.4
住宅	55.0	45.8	45.8	41.7	33.3
企業関連	50.0	52.8	54.2	38.9	40.3
雇用関連	57.1	53.6	50.0	53.6	35.7

回答別構成比(%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなっている	2.1	0.0	1.0	0.0	1.0
やや良くなっている	20.2	17.2	13.3	8.3	5.2
変わらない	51.1	58.6	59.2	43.8	46.9
やや悪くなっている	20.2	19.2	17.3	37.5	33.3
悪くなっている	6.4	5.1	9.2	10.4	13.5

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=96

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	46.8	51.3	49.5	44.3	39.3
家計関連	45.0	49.7	47.3	42.3	37.0
小売	50.0	52.6	50.0	38.0	33.3
飲食	36.4	43.8	31.8	45.8	31.3
サービス	43.0	49.1	50.0	45.2	41.3
住宅	45.0	50.0	50.0	41.7	45.8
企業関連	50.0	54.2	55.6	52.8	50.0
雇用関連	57.1	60.7	57.1	42.9	35.7

回答別構成比(%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0
やや良くなる	17.9	27.3	24.5	14.6	10.4
変わらない	57.9	55.6	56.1	47.9	47.9
やや悪くなる	17.9	12.1	12.2	29.2	30.2
悪くなる	6.3	5.1	7.1	6.3	11.5

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=28

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	45.8	45.8	40.0	38.8	35.7
家計関連	42.4	43.5	35.9	34.1	34.5
小売	50.0	50.0	30.6	27.8	31.3
飲食	50.0	25.0	25.0	25.0	33.3
サービス	30.6	41.7	44.4	40.6	37.5
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5
企業関連	56.3	56.3	56.3	56.3	43.8
雇用関連	58.3	50.0	50.0	50.0	33.3

回答別構成比 (%)

	平成16年	平成16年	平成16年7	平成16年	平成17年
	1月	4月	月	10月	1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	16.7	13.3	13.8	0.0
変わらない	50.0	60.0	46.7	37.9	57.1
やや悪くなっている	23.3	13.3	26.7	37.9	28.6
悪くなっている	6.7	10.0	13.3	10.3	14.3

< 津軽地区 >

DI

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	52.5	47.4	45.7	35.7	41.4
家計関連	53.4	48.8	42.9	33.8	41.7
小売	44.4	50.0	50.0	28.6	34.4
飲食	66.7	41.7	33.3	25.0	41.7
サービス	62.5	53.1	35.7	40.6	50.0
住宅	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5
企業関連	50.0	41.7	54.2	37.5	37.5
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成16年	平成16年	平成16年7	平成16年	平成17年
	1月	4月	月	10月	1月
良くなっている	3.3	0.0	3.4	0.0	3.4
やや良くなっている	23.3	10.3	3.4	3.6	10.3
変わらない	53.3	69.0	75.9	46.4	41.4
やや悪くなっている	20.0	20.7	6.9	39.3	37.9
悪くなっている	0.0	0.0	10.3	10.7	6.9

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	52.1	48.3	51.7	40.5	37.1
家計関連	51.7	44.0	50.0	41.3	36.3
小売	53.1	50.0	55.6	37.5	37.5
飲食	50.0	25.0	41.7	33.3	41.7
サービス	37.5	42.9	46.4	50.0	35.7
住宅	100.0	50.0	50.0	37.5	25.0
企業関連	50.0	57.1	57.1	32.1	42.9
雇用関連	62.5	62.5	50.0	62.5	25.0

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなっている	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	25.0	26.7	26.7	10.3	6.9
変わらない	54.2	46.7	56.7	48.3	48.3
やや悪くなっている	8.3	20.0	13.3	34.5	31.0
悪くなっている	8.3	6.7	3.3	6.9	13.8

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	30.0	45.0	36.1	30.0	25.0
家計関連	30.6	41.7	37.5	30.6	25.0
小売	16.7	41.7	33.3	33.3	25.0
飲食	25.0	41.7	37.5	16.7	16.7
サービス	50.0	41.7	41.7	41.7	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	40.0	60.0	55.6	40.0	30.0
やや悪くなっている	40.0	30.0	33.3	40.0	40.0
悪くなっている	20.0	0.0	11.1	20.0	30.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

D I

n=28

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	45.0	50.8	48.3	44.8	40.2
家計関連	43.5	45.7	43.5	43.2	36.9
小売	55.6	50.0	44.4	38.9	34.4
飲食	33.3	41.7	33.3	50.0	25.0
サービス	33.3	41.7	44.4	46.9	40.6
住宅	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0
企業関連	50.0	75.0	68.8	62.5	56.3
雇用関連	50.0	58.3	58.3	33.3	41.7

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
やや良くなる	16.7	26.7	23.3	10.3	7.1
変わらない	50.0	53.3	56.7	58.6	57.1
やや悪くなる	30.0	16.7	10.0	17.2	25.0
悪くなる	3.3	3.3	10.0	10.3	10.7

< 津軽地区 >

D I

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	50.8	53.4	50.9	41.1	38.8
家計関連	50.0	54.8	48.8	41.3	38.1
小売	47.2	59.4	47.2	35.7	34.4
飲食	58.3	25.0	50.0	58.3	25.0
サービス	53.1	62.5	50.0	40.6	46.9
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	37.5
企業関連	50.0	45.8	54.2	41.7	41.7
雇用関連	62.5	62.5	62.5	37.5	37.5

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0
やや良くなる	20.0	34.5	24.1	7.1	6.9
変わらない	66.7	48.3	62.1	42.9	51.7
やや悪くなる	10.0	13.8	6.9	42.9	31.0
悪くなる	3.3	3.4	6.9	3.6	10.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	51.0	51.7	50.0	50.0	42.2
家計関連	50.0	51.2	50.0	46.3	38.8
小売	56.3	55.6	58.3	46.9	34.4
飲食	37.5	58.3	16.7	41.7	41.7
サービス	45.0	42.9	53.6	46.4	39.3
住宅	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
企業関連	50.0	50.0	50.0	57.1	57.1
雇用関連	62.5	62.5	50.0	62.5	25.0

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	24.0	26.7	26.7	27.6	20.7
変わらない	64.0	60.0	53.3	44.8	37.9
やや悪くなる	4.0	6.7	13.3	27.6	31.0
悪くなる	8.0	6.7	6.7	0.0	10.3

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成16年	平成16年	平成16年	平成16年	平成17年
	1月	4月	7月	10月	1月
合 計	30.0	45.0	47.2	35.0	30.0
家計関連	27.8	44.4	46.9	33.3	30.6
小売	25.0	33.3	50.0	16.7	25.0
飲食	16.7	50.0	25.0	33.3	33.3
サービス	41.7	50.0	58.3	50.0	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成16年 1月	平成16年 4月	平成16年7 月	平成16年 10月	平成17年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	0.0	10.0	22.2	10.0	0.0
変わらない	40.0	70.0	44.4	40.0	40.0
やや悪くなる	40.0	10.0	33.3	30.0	40.0
悪くなる	20.0	10.0	0.0	20.0	20.0

4 . 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	レストラン	時期的なもの。
やや良くなっている	家計	津軽	都市型ホテル	宿泊客の動向は、鈍化傾向にあるが、宴会や食堂部門はやや良い。
			観光型ホテル・旅館	忘年会・お正月とおお客様の動きがありました。また、雪が多いので、スキーのお客様が期待できそうです。
		県南	美容院	店販品のお買い上げが良くなっているし、予約もだいぶいただいている。
		乗用車販売	初売りの来店客が多かったこと。土日に重なったのが幸いしたのかもしれないが、車の購入を考えているお客様が意外に多くて驚いた。	
どちらとも言えない	家計	東青	美容院	お客様との会話の中で、災害等の暗い話題が多く感じられる。
			都市型ホテル	当社の売上高や金融機関動向調査や取引先の声から判断して。
			設計事務所	新年の挨拶でお会いする方々全てが重い足取りでした。
			家電量販店	年末年始のお客様の動向からみて、一向に良くなっていない。
			一般飲食店	必要な物しか買わない。
			スナック	飲食業は、悪いと思う。12月は多少良かったかなと思います。一年毎に売上げが落ちています。単価が低くなっているの。仕方がないとあきらめているが、頑張るしかない。
			ガソリンスタンド	イメージは良くなっているように感じるが、具体的にここが良いと言えるものが一つもない。
			広告・デザイン	冬物衣料を中心とした商材の動きが鈍いのと合わせ、企業の経営状況のバロメーターとも思われる歳暮・ギフト関連商品が停滞していると思われる。
			建設	景況は上向きと見ているが、建設業にあっては官公需の減少が厳しく、民需は競争による収益低迷という状況につき、総じて目立った変動はおきないであろう。
			経営コンサルタント	公共工事減少の影響もあり、全体として回復を実感できるまでには至っていない。
		人材派遣	現状派遣人員は横ばい状態である。顧客の動向としては、経費削減・仕事量の減少から、人員削減を検討しているところが増えている。	
		津軽	商店街	商店街への来客状況や売上げ状況から見て、景気が回復している傾向が見受けられない。
			家電量販店	可処分所得が決まっいて、どこで使ってもらえるか。税金等のアップもあるので、好転は難しいと思う。
			衣料専門店	大型店の郊外進出により、旧商店街の人通り少なく、シャッターを閉めている店が多く商店街が衰退している。
ガソリンスタンド	12月下旬まで暖冬だったせいか、季節商品の売上げが悪かったが、クリスマス前後から寒波の連続でほっとしています。			

どちらとも言えない	家計	津軽	食料品製造	大きな変動なし、現状維持。
			広告・デザイン	悪い状況が依然として続いており、回復傾向にない。受注件数、受注額、見積依頼等何一つとして上向いていない。
			経営コンサルタント	企業の所得が低い水準で移行しているため。
			人材派遣	お客様との会話の中では、定率減税廃止など増税の話題が時々聞かれ、明るい話題はほとんどありません。
			新聞社求人広告	広告出稿に対する低迷が依然として続いており、回復傾向も見えない。
	企業	県南	旅行代理店	当地区でも業況の良いのはほんの一部の企業で、多くは冬のボーナス支給も気持ち程度という感じである。
		県南	百貨店	長期での景気低迷の状況が認識されているのか。売上げ前年比でみると大きな変動は見られない。
			観光名所等	毎年の事ですが、1月は特に商品の動きが少ないので、景気状況が分かりづらいです。
			一般飲食店	来店頻度の激減、客単価の低下等。お金が循環せず、滞っている。
			レストラン	飲食関係では、全体的に横ばいである。年配の方は外食はしなくなり、若年の方は仕事が無いようである。
			パチンコ	市街・郊外の空き店舗の状態が長期間変わっていない。請負業者の著しい低額での請負、総発注額の減量等により仕事がなく、良くない話ばかりである。構造改革の影響、または先行き不透明による民間事業投資の先送り、控える等要因はたくさんあると思うが、政策などで意欲を持たせてほしい。
			スーパー	一部企業のみ利益回復しているが、一般の中小企業は依然厳しい。
			紙・パルプ製造	ここへきて製品価格の修正が実現したものの、当初の値上げ巾の半分程度にとどまったこと、昨年の原油高騰に起因する諸資材の値上げがあったこと等による。
			経営コンサルタント	全体的にみると、ほとんど変わっていないと思うが、係数などからみると良くなっているのでしょうか。地域的に格差が大きく、青森県は変わらずだと思う。
飲料品製造			ストレスが強くなったのか、あるいは飲んででも晴れない程、憂さが濃いのか、12月の夜の街は最悪でした。	
雇用			県南	人材派遣
		下北		都市型ホテル
			一般小売店	買い控えの傾向に変化が見られない。また、ギフトの買い方に変化が見られ、遠方へのお歳暮を減らす方が多く見受けられた。
		タクシー	首都圏の景気が好転傾向のようですが、その波及効果はかなり遅れると思われる。	
やや悪くなっている	家計	東青	旅行代理店	同業他社及び関連業者との情報交換の中で、ほとんど全社が前年並み及びマイナスの実績予想、当社も同様です。
			百貨店	購入姿勢がますます慎重になっている。人気ブランドに購入が集中し、それ以外は値引きしても売れない。

やや悪くなっている	家計	東青	観光型ホテル・旅館	忘・新年会の動きが悪い。
			コンビニ	災害続きだった昨年の影響が今年も尾を引きそうです。また、地方紙にしか載らない小さな倒産が続いていますし、全くいい話は聞かれなくなってしまいました。子ども達のお年玉も減っていると聞きました。
			食料品製造	暖冬で、冬物がさっぱり売れないという情報がいっぱいでした。
			新聞社求人広告	豪雪の影響もあるだろうが、販売不振を訴える企業が多くなった。
			求人情報誌	入金遅れや、分割入金が増えてきた。
		津軽	旅行代理店	販売の値引き傾向が強く、利益があがらないというお話を業種に関係なく耳にします。
			百貨店	今年、生活に対しての増税感がマスコミ等で多くなってきていることから、生活防衛になってきている。
			設計事務所	新規、リフォームとも物件が少ない。
			観光名所等	新潟地震の影響により、関西方面より日本海側のJRや上越新幹線の影響による観光客の減少。
			卸売業	お客様からの受注・製品の出荷状況から。
			一般小売店	徐々に伸び率が下がってきているので。土手町商店街の客足が落ちてきている。
			一般飲食店	今年のお正月は、予約が去年より激減、フリーのお客様も激減した。土手町商店街は昨年より全体的に売上げ減のようである。駅前方面も良くなかったと聞く。
			パチンコ	台風の影響や、ここ最近の豪雪により客足が落ち込み傾向にある。また、マスコミ報道も地震や津波のニュースが多いため、気分的に出足に歯止めがかかっているのではないだろうか。
			電気機械製造	オリンピックの影響等もあり、今期は好調に推移してきましたが、年度末をむかえてメーカーは在庫調整に入っていると思われる。
			飲料品製造	昨年の台風による、農作物に与えた影響が大きい。
		県南	設計事務所	商工業者の会合で、会う人皆が「悪い、良くならない」と言う。
			商店街	売上げ不振。
			住宅建設販売	絶対顧客数が減少しているように思われる。
			卸売業	正月商戦で、一時的な売上げがあったが、依然として売上げが前年割れ状態が続いており、景気が悪い。
			一般小売店	年末年始と明るい話題が少なく、買い控えの傾向を強く感じる。特に暖冬で冬物の商戦が不振に終わったため、春物への切り替えがうまくいかないと衣料関連の物販の人は口を揃えている。
			衣料専門店	暖冬の影響なのか、高額な衣料品の売れ行きがさっぱりです。

やや悪くなっている	家計	県南	スナック	変動がない。お客様の飲む単価が安いし、客数が少ない。
	企業	県南	コンビニ	直近では、年賀はがきの売れ行きからみて、大幅な昨年割れが目立っている。これは、情報化時代として、文書ではなくインターネット、携帯電話等が大幅に利用されているということ。
			ガソリンスタンド	物販が良くない。飲食街が閑散としている。
		下北	一般飲食店	平成11年よりだんだん下降しています。特に平成15、16年と、前年より良い月は一度もありませんでした。赤字続きです。今年からは考えを新たにして、最低の線で生活していかなければならないと思っています。
			レストラン	「景気は、お客様は入っていますか。店の方は全然。みんなどこへ行っているんでしょうね。頭が痛いです。」と不機嫌な顔で答える。今はそれが挨拶になっている。
	雇用	下北	スーパー	むつ市内もコンビニ・商店・ガソリンスタンドの閉店が多くなっている。
食料品製造			ここ数ヶ月の商品の動きが悪い。この地域の基幹となる業界への発注がないと聞いている。	
悪くなっている	家計	東青	商店街	天候不順で、客足が遠のいており、消費マインドまでも冷え切ってしまった。
			一般小売店	店舗の売上げが前年比2桁ダウンが続いている。
			レストラン	良くなるような気がしない。
			タクシー	売上含む他の項目全てに対前年比マイナスが続く。
	津軽		スナック	飲みに来るお客様が少なくなった。
			コンビニ	取引先への納入数の減少。
	県南		観光型ホテル・旅館	お客様がないから
			タクシー	タクシーの乗車が非常に少ないし、出かけても家族で食事をする程度で、買い物量が少ない。
			電気機械製造	お客さんなど仕事をいただいている先の新年挨拶で「今年は昨年より少し悪くなるでしょう。指標類もそうである。」との話が聞かれたが、実際の仕事はそこそこ忙しくなっており、気分の問題ではないかと考える。
			新聞社求人広告	夏場にかけて回復基調が感じられたが、秋口から小売業、不動産の動きが悪くなっている。特に11月12月の落ち込みが激しい。
		下北	スナック	先行きに対する明るさが全く見られない。
	企業	下北	コンビニ	倒産・破産が多い。土木工事が少なく、失業者多数。給与、ボーナスカット、特殊法人の体質がほとんど変わらない。一般人と公務員の待遇が違いすぎる。御用始め、御用納めにも違和感を感じる。
	雇用	下北	ガソリンスタンド	周辺会社の倒産、不渡り等があるため。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由			
やや良い	家計	県南	観光名所等	1月はどうしてもお客様が少ないですが、今後期待したいです。			
			乗用車販売	期待感を半分込めて、上向いてくれると思う。			
			レストラン	大手企業は、国内でも国外でも良いようであるが、これから中小企業にも影響があると思う。企業物価がプラスになってきたようである。			
			美容院	今年の旅行計画をよくお聞きする。質の高い買い物の様子を聞く。			
	企業	東青	建設	中央の回復基調が、穏やかながらも当地方へ波及してくると考えられる。なお、ここにきて中央の基調が、やや下降気味となっているのは気になるものの、鋼機の増産に見られるようにプラス要因も少なくなく懸念はあるまい。			
			津軽	電気機械製造	各メーカーの在庫調整も終わり、4月頃からは受注が回復するという話を良く聞くから。		
		県南	電気機械製造	団塊世代の引退などで、世の中全体の若返りがおきており、長期的には少しずつ活力ある世の中へ変わっていったと思うから。			
			経営コンサルタント	雇用環境が幾分良くなっている。また、倒産・廃業が一段落しているので心理的に期待感がある。			
			どちらとも言えない	家計	東青	家電量販店	先を読み切れない。
						スナック	全く分からないが、良くはならないでしょう。
都市型ホテル	販売不振及び個人所得の低下、企業の経費節減が今後も続くから。						
旅行代理店	良くなるという要素が何も見えない。前年の実績をクリアできれば良しとしなければならない。						
ガソリンスタンド	将来についての不安が無くならなければ、3ヶ月で良くなるとは思えません。						
設計事務所	お会いする方々から明るい話は聞くことができませんでした。						
津軽	東青	パチンコ		明るい話題等がない限り、今後しばらくこの状況が継続すると思われる。			
		衣料専門店		消費者の懐が相変わらず堅い。ただし、高額品は売れている。			
		家電量販店		良くなる理由もなく、これ以上悪くならないと思う。			
		都市型ホテル		恒例の宴会や行事は取り込めているが、婚礼を含め不透明だ。			
県南	東青	旅行代理店	景気動向に関する好材料が見あたらない。				
		パチンコ	国、県の財政が厳しく、悲観的だが明るい材料がない。				

どちらとも言えない	家計	県南	住宅建設販売	ニュース等で報じられている景気の回復傾向は、大都市圏に限定されるものであり、その波は地方にはまだ届かないと予想される。
			スーパー	お金を持っていても、今の増税が続く限り、無駄なものは買わない。
			旅行代理店	景気状況は悪くなることはあっても好転する見込みはなく、冬のソナタの状況がまだまだ続くと考えている経営者が圧倒的に多いように感じている。
		下北	レストラン	米国産牛肉の輸入再開を一日も早く。焼肉店、外食産業は深刻になってきています。安くておいしいお肉を消費者に。
			一般小売店	求職者が減っていかねば、お金の廻りは良くなるとは思えません。
			ガソリンスタンド	良くなる理由が見あたらない。
			一般飲食店	東通電源の関係で、いくらかむつ市まで影響があって、売上げにつながれば良いと願っています。だめだったら、目の前が真っ暗です。
	企業	東青	食料品製造	良くなる材料が見あたらない。逆に増税ムードで消費を抑えようという空気が強くなると思う。
			広告・デザイン	3月決算期の企業においては、今年度内は思い切った設備投資や宣伝広告費の出費はほとんど見込めないため。
			経営コンサルタント	全体としては横ばいと見る。しかし、企業体力は弱ってきており、官需に依存割合の高い本県では、先行きが懸念される。
		津軽	食料品製造	いい話は全然聞こえてこない。
			広告・デザイン	良くなることはなくても、悪くなることはあり得る。中央では回復傾向であるとしているが、それを地方まで反映させる程のエネルギーが感じられない。政府もすでに回復したのだと拍車をかける策をだしていない。
			経営コンサルタント	特別大きな変化をもたらす出来事が生ずるとは思えない。
		県南	飲料品製造	業界生き残りのため、不健全な安売りを止め、ビールの末端価格が少し上昇予定だが、消費者に近い小売り・飲食ともに上げに対する客の反応に恐れている。
			紙・パルプ製造	製品価格、原燃料価格とも動きは一服する見込み。紙の需要は季節要因を除けば大きな変動は無いが、価格修正が通ったところでの円高傾向ということで、輸入紙の動向が気になるところ。
			食料品製造	経済政策等を聞いていると良くなると思えない。
	雇用	東青	人材派遣	直接景気回復に結びつく産業のない本県では、依然行き先不透明である。また、財務体質の脆弱な企業が多く、回復の兆しが見えない現状では、対策を立てようがないのが本音である。
新聞社求人広告			県内、県外とも月毎に良い月と悪い月の売上げの差が著しい。	
県南		人材派遣	企業によって景気の良い悪いが分かれている。青森県の企業はそういった景気の良いところは少ないと考えられる。新卒者の就職に関しても、地元での就職は困難な状況であり、求職者のみが今後も増加するのではと思います。	

やや悪い	家計	東青	コンビニ	今年は増税になるともう決まっていますから、財布の紐は更に更に引き締まっていきそうですし、今年は景気が回復するという政治の話も聞かれません。
			卸売業	個人負担増。
			一般飲食店	給料が上がらないで、税金が上がるので。
			美容院	まだまだ中小企業の業績が悪いようで、これからもっと明るい話題がない限り難しい。
			百貨店	昨年の全国的な天候不順が企業体力を消耗させている。結果、所得減や雇用不安となり、個人消費が停滞気味。
		津軽	卸売業	当業界は公共事業の比重が多く、年々減少傾向にあるため。
			百貨店	買い上げ点数、購買金額が減少している。
			スナック	見通しが見つかりません。
			設計事務所	建築関連業者で継続的に仕事を抱えている業者が少ない。
			一般小売店	弘前大学等、公務員だったものが、学校法人化され、先行きに対する心配等で、消費が伸びないと思われる。
			一般飲食店	良くなる題材がない。
		県南	一般小売店	特に紳士衣料の人と話すと感じるのですが、上昇志向の客が少なくなり、機能さえ満たせば、安い方が良いという傾向が強くなり、マスコミも安いものを肯定的に取り上げすぎだと思ふ。この傾向が長く続くと、日本の製造に携わる職人がダメになってしまう。
			スナック	良くなってほしいが、客足が悪い。
			百貨店	全体の景気を牽引しているIT産業が、地元には少ない。建設業についても、今年は悪い材料がある。増税がメディアから多く流れており、消費が縮小するのでは。
			一般飲食店	万博等で、関西の方は景気が盛り上がっているが、地方、特に青森県は最低の景気ではなからうか。
			コンビニ	報道されているとおり、他国・自国への災害が多発しており、国や個人、店からの援助金等が出されているが、そのつけは、国民にどのような形でまわってくるのか心配だ。
			商店街	行き過ぎた過当競争。
			ガソリンスタンド	建設業を中心として不振である。
			衣料専門店	増税などの国民の負担が大きくなりそうで、不安材料が多い。
			卸売業	個人消費の伸び悩み、公共投資の減少、雇用情勢等いまだ先が見えない状況が続いている。
下北	スーパー	閉店が多くなり、仕事に就けない人達が多く、「アルバイトでもないか。」と聞かれることが多い。		
	タクシー	景気の最悪期を超えたとはとても思われない。		

やや悪い	家計	下北	都市型ホテル	税制面での軽減が少なくなった分、自由に旦那さんが使えなくなった。
	企業	津軽	飲料品製造	台風で被害のあった農作物の加工コストが増加するため、企業によっては賞与等の減額が考えられる。生産者の収入も減り、消費に影響があるのではないか。
		下北	食料品製造	回復する要素が見あたらない。
	雇用	津軽	人材派遣	一般庶民に対する増税が行われ、ただでさえ所得が少ないのに、可処分所得が減るということは、一般消費に影響を与えることは明らかです。東京をはじめとした大都市圏では、景気の持ち直しがささやかれています、私の住んでいる弘前市では、残念ながら全くそれを感じることはできません。
悪い	家計	東青	一般小売店	明るい見通しが見あたらず。
			レストラン	青森の冬期がいつものように良くなる理由がない。
			タクシー	年金含む給与賞与等の目減り及び先行の見通しがたたないため、支出の減少がこの先まだまだ続く。
	津軽	観光型ホテル・旅館	3ヶ月先は当地はオフシーズンなので、企業努力が必要になると思う。	
			県南	観光型ホテル・旅館
	県南	タクシー	青森県の旧三市の中で最も景気が悪く、景気上昇の要因が見つけられない。若い人の仕事が無い。	
		下北	スナック	去年の3月からずっと下降しているが、改善する様子がない。
	雇用	県南	新聞社求人広告	例年、年度末予算消化的なものがあつたが、ここ数年見られなくなっている。3月には市町村合併が相次ぐがこれも財政不安からの合併であり、経済的波及効果は期待できないのでは。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=96

	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 7 年
	1 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月
合 計	27.6	29.8	30.1	28.1	23.4
家計関連	29.6	29.4	29.8	26.8	22.9
小売	27.6	34.5	33.3	25.9	20.4
飲食	38.6	25.0	27.3	18.8	22.9
サービス	30.0	29.6	27.9	32.7	25.0
住宅	20.0	12.5	25.0	20.8	25.0
企業関連	19.4	29.2	31.9	31.9	25.0
雇用関連	28.6	35.7	28.6	32.1	25.0

回答別構成比 (%)

	平成 1 6 年 1 月	平成 1 6 年 4 月	平成 1 6 年 7 月	平成 1 6 年 1 0 月	平成 1 7 年 1 月
良い	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
やや良い	5.3	9.1	8.2	5.2	2.1
どちらとも言えない	27.4	31.3	27.6	31.3	25.0
やや悪い	40.0	29.3	36.7	34.4	37.5
悪い	27.4	30.3	26.5	29.2	35.4

地区別 D I

	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 6 年	平成 1 7 年
	1 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月
合 計	27.6	29.8	30.1	28.1	23.4
東青	26.7	24.2	25.8	24.1	21.4
津軽	32.5	36.2	32.8	32.1	26.7
県南	24.0	30.8	32.5	30.2	26.7
下北	25.0	25.0	27.8	22.5	10.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	勝ち組の企業もたくさんありますが、青森ではなかなか成功者という名前は聞かないです。また、函館出身の方で、青森へ出店している人が、ねぶた祭りやイベントの時に、料金が値上がりするのはおかしく、青森を宣伝できないと言っていました。
家計	東青	百貨店	今年の初売り福袋は、ブランドと実用の両極に大きく分かれた。
家計	東青	商店街	初売りの三が日は天候も良く、どの大型店も好調だったようだ。
家計	東青	レストラン	飲食業全体が悪い。
家計	東青	スナック	接待客が欲しいです。やはり、県が動かないと決して良くはならないと思います。何とかして欲しいです。
家計	東青	観光型ホテル・旅館	特に動き等はないが、ガソリン等の石油関係の価格によっては、多少なりとも良くなるのではないかと思います。
家計	東青	観光名所等	初詣ですら、あんなに減っているのを見ると、あきらめムードが出ているような気がします。
家計	東青	美容院	今年は集中的な雪で、交通がマヒ状態のため、経済どころの話ではない感じがする。
企業	東青	建設	新幹線の現実性が高まってきたものの、必然とされる逆ストロー効果への対処法が乏しく、当地産業経済の長期的先行きが不安。
雇用	東青	人材派遣	現在の派遣社員のままでは、将来展望が開けないとして、正社員から高収入の所を求めて転職する人が増えた。一方、新卒者の登録が増加している。
家計	津軽	衣料専門店	近代化資金を導入し、「上土手町まちづくり計画」を完了したが、5年経過しないうちに、競売の会社が現れ、役員が連帯保証人になっているので、後始末を心配している。
家計	津軽	一般小売店	株価が上がっているのは好材料。中央だけでなく、地方にも景気の良さが波及してほしい。
家計	津軽	商店街	中土手町の空き店舗2店の売却が決定し、再開発が期待され、商店街の活性化に寄与するものと推察される事から、良い方向に向かうものと思われる。
家計	津軽	一般飲食店	閉店している店に動きが見えている。ホテル建築、アパート建築の予定が聞こえているので、実際に決定すると、少しは良くなってくるのでは。
家計	津軽	都市型ホテル	ビジネスホテルの建設の予定があるが、影響は少ないと考える。
家計	津軽	観光名所等	弘前市及びその周辺の観光関係者が第2回世界自然遺産会議や白神山地について、無関心すぎるのが問題。
家計	津軽	旅行代理店	今冬の除排雪関連業種の仕事が増えていることで、波及効果のような形でてくるか期待しています。
家計	津軽	ガソリンスタンド	最近の新聞では、弘前市中心街の空き店舗の売買が活発になってきた様子で、中心街の空洞化の歯止めを期待しています。
家計	津軽	設計事務所	同業者、関連業者でも仕事量が少ない。
企業	津軽	食料品製造	支払いの遅払いが常習化してきたスーパーがある。大店法の見直しを早くしてもらいたい。

企業	津軽	飲料品製造	今年は加工りんごが高い。量的にはあるはずだが、さらに高値を狙っている。昔から足りない物は余るのたえがあり、全くそのとおりで、暴落するまででてこない。過去何回か見てきた。
企業	津軽	電気機械製造	車関係だけはずっと好調でしたが、車メーカーの材料切れの影響が受注が下がっています。
企業	津軽	経営コンサルタント	りんごの販売などは高値でいい話は聞かすが、観光などは平成15年に比べると良くない。
企業	津軽	広告・デザイン	当社での新年会で、来賓18社の方々と現況と見込みについて、お話を伺ったが、前向きな計画・方針は無し。とにかく現状で耐える事との意見が多数。
家計	県南	乗用車販売	中国のオリンピック景気にのっかって、鉄鋼関係や自動車好調の兆しを見せ始めているので、昨年の暗いニュースから災い転じて福となつてほしい。
家計	県南	衣料専門店	地域再生へ向けて、企業誘致の可能性はあるのでしょうか。可能性のためにどんなビジネスが八戸に向くのかしっかりと考えてほしい。
家計	県南	一般小売店	郊外の大型店の元旦営業が通常化してから数年になるが、旧市内の中心商店街の人手がますます減少し、普通の日と変わらなくなってきている。これは、お盆にも共通していて、その傾向は更に強くなって行くと思う。
家計	県南	卸売業	県内において大型倒産が発生しており、今後も収益低迷に悩まされている企業が多く対策が望まれる。
家計	県南	一般飲食店	この調査を活用して、何か行政でカンフル的な対策を期待するものです。
家計	県南	スナック	今の商売をはじめて、一番大変である。
家計	県南	タクシー	政府では景気が上向いていると言うけれど、いったいどの景気なのか。腹が立ってくる。
家計	県南	美容院	日々消耗する安い買い物と上質で長持ちする品に対してあまり抵抗なく出費している。その区別もしっかりしている。
家計	県南	設計事務所	公共事業を発注してもらわないと県経済は良くなるらない。
企業	県南	飲料品製造	当業界の小売店は今年もどんどん閉店すると思いますが、これは景気とは無縁のこと。魚の捌けない魚屋が存続できないという問題です。
企業	県南	紙・パルプ製造	今年の冬は灯油が高くて、家庭の暖房代が大変だという話をよく耳にする。
企業	県南	電気機械製造	みちのく有料道路の割引実験はその後どうなったのか。これが恒久的に実現できるかどうかは、青森県政がこの先変わるかどうかともかかわってくると思う。小さな事柄ですが、そういう端々にヒントがあると思います。
企業	県南	建設	民間の設備投資意欲は、すぐ実行するかどうかは別にして、それなりにあると感じている。大都市圏の民間建設投資の高まりとリンクしているかどうかは分からないが、業況堅調な企業は前向きな投資には積極的だと思う。
企業	県南	経営コンサルタント	資産運用とか利回りとかに関心を持つ人が多くなり、それによって金が動くようになってきた。
雇用	県南	人材派遣	身の回り、特に収入と消費に関して、悪循環になっているのではと考えます。給与が引き下げられ、買い物も回数や金額も下がる。主婦は家計のやりくりで四苦八苦している方が多い。
家計	下北	コンビニ	給与水準が全国でも下から数えて1,2番の青森県。その中でも1番低い下北半島。社会資本その他の絶望的な遅れ、何とかならないものか。
家計	下北	一般小売店	とうとう、古くからあるガソリンスタンドが倒産しました。セルフスタンドにより価格競争が激しくなったからだだと思います。少ないパイの奪い合い。体力勝負だと思います。

家計	下北	一般飲食店	大型のショッピングセンターが次々にできています。食料の仕入れでも小さな商売では、安く仕入れることはできないので、おいしさで勝負しなければなりません。頑張ります。
家計	下北	スナック	今年一年は今の状態が続くと思います。後半に期待します。
家計	下北	都市型ホテル	セルフのガソリンスタンドが増え、一般のスタンドで閉めるところが多くなっている。
家計	下北	タクシー	むつ下北地区は、東通原発等巨大プロジェクトの恩恵があると思われているが、それですら売上げが下がる一方です。市民に波及し持続できる諸施策が待たれます。
企業	下北	食料品製造	行政も民間もデフレスパイラルに陥り、個々にエネルギーを失っている感がある。政治に関わる人の活力とか潤いという言葉が空しく響くのは、私だけだろうか。